

■準備書面 9P JA3HBF 田原 廣

1. 議長団及び、理事会、事務局への申し入れ
(議事に入る前に確認していただきたい。)

※社員総会の公開について

社員総会速記録が廃止されて以来 JARL 会員や社員から web 実況中継（ライブ）や映像ファイル・音声ファイルの公開が求められている。一昨年の総会において専務理事は「検討する。」と答弁をしたが、その後一切「検討」された形跡がない。JARL 会員からの「公開」の要望を受け入れるつもりはないのか？

<高尾前会長予定原稿>社員総会運営についてご意見をいただいておりますので、今後の社員総会運営について検討する際に参考にいたします。

公開に関しては、JARL 会員に厳密に限定して配信ということは難しいと考えております。非会員にまで配信する必要はないと考えており、また、公開してもらいたくないという参加者もいらっしゃるのではないかと考えております。一方で、公開を望まれる意見を頂戴しておりますので、どのような方法であれば可能か、次回に向け検討をおこなってまいります。

<森田会長回答>毎年、公開を望まれる意見を頂戴しております。本年は速記録の公開を行いました。オンライン中継も含め、次回に向けて前向きに検討をおこなってまいります。

■準備書面 43P JI1RKA 板橋 直樹

1:初めに

総会速記録が廃止された今、会員が議事進行の詳細を確認する術がない。従って、下記の事を要求する。

- ・速記録の復活

第12回社員総会 総会全般

- ・録音・録画データの公開
- ・当日欠席者を含めた準備書面への執行部側回答集の作成
- ・投票総数と賛否の数の公表
- ・委任状の委任者・被委任者の全面公開
- ・投票者の賛否の全面公開

我々は有権者たる正員から負託を受けた「代議員」である事を今一度明確にすべきであり、上記要求事項に反対する社員は期数問わず今すぐ辞職すべきである、とまず以って明らかにしたい。

当然ながら、全ての社員は本総会後は有権者たる正員に対し、総会報告をする義務があり、その審議内容は全て公開されて然るべきである。

尚、上記要求事項に含まれる総会のリアルタイム映像配信は今年の総会でJJ1WTL 本林社員の質問に対し「システムを作成するのにお金が掛かる」との答弁があったが、こちらはYouTubeの限定配信機能を活用すれば良く、費用も掛からずシステム構築出来る筈である。

そもそも、傍聴席のあるフロア迄はどのようなシステムで伝送しているのかを明らかにされたい。

仮にWeb中継を行っているなら、そのままリアルタイム配信が出来る筈である。また、今年も総会傍聴人の募集に対し、全員当選とはならず、「選別」されている模様である。

今回の応募人数・抽選当選人数・「選別」方法について明確な説明を要求する。本来なら、全員当選すべき所を「会場の都合等」で振り分けざるを得なかったのは何故か、こちらに関しても明確な説明を要求する。

同時に、議事進行について、従前から横暴な議事進行が行われていると聴き及んでいる。

その為、議事進行についても下記を要求する。

- ・採決は全て「投票」により決定する事
- ・投票時の議場閉鎖
- ・投票立会人の複数無作為抽出
- ・審議時、全ての質問が終える迄議事進行を行わない事

これら上記要求事項について、万が一導入出来ない場合、合理的な理由を明確にすべきである。

併せて、JARLのHPに掲載されながらも、各社員総会・理事会の議事録類がJARL会員専用ページとされているが、同様に専用ページとされているJARL会員手帳及びJARL NEWSも含め全面的に会員専用を外して公開するべきではないかと考える。

第12回社員総会 総会全般

旧社団法人時代の通常総会のページも同様となっており、全面的に制限を外すべきと考える。

執行部側の見解如何。

＜高尾前会長予定原稿＞社員総会運営についてご意見をいただいておりますので、今後の社員総会運営について検討する際に参考にいたします。公開に関しては、JARL 会員に厳密に限定して配信ということは難しいと考えております。非会員にまで配信する必要はないと考えており、また、公開してもらいたくないという参加者もいらっしゃるのではないかと考えております。一方で、公開を望まれる意見を頂戴しておりますので、どのような方法であれば可能か、次回に向け検討をおこなってまいります。

＜森田会長回答＞毎年、公開を望まれる意見を頂戴しております。本年は速記録の公開を行いました。オンライン中継も含め、次回に向けて前向きに検討をおこなってまいります。

＜高尾前会長予定原稿＞総会傍聴人の抽選については、適正に実施しているため問題があるとは認識しておりません。

＜森田会長回答＞総会傍聴人の抽選については、適正に実施していますが、人数が少ないと考えます。次回以降は、傍聴席の増加を検討します

■準備書面 79P JK7LXU 石岡 洋一

【過去の答弁の確認】

本連盟は定時社員総会前に準備書面の提出を求めているが、社員の質問等に対する答弁を、書面による資料提出することなく口頭で行っている。社員は過去の本連盟の答弁に限らず、議案書に記載のない金額など細かな数字、数値、重要な法令等の条文さえも、当日の議場において書面などで確認することができない。さらに、総会后においても公式な速記録の確認や録音記録の開示を全く拒否されている。

私は本準備書面の作成にあたり、次のとおり本連盟にお願いした。

きたる第12回定時社員総会総に準備書面を提出する予定です。

つきましては、昨年定時社員総会で本連盟が答弁した内容を確認したいので、速記録または録音記録の開示をお願いします。

開示の対象は以下のとおりです。

第12回社員総会 総会全般

- ・わたくしの質問等に対する答弁です。
- ・わたくしの質問等に関連する質問等に対する答弁です。

(2月14日送信 本連盟宛て電子メール)

本連盟は以下のとおり回答した。

お問い合わせの件ですが、第11回定時社員総会の速記録は作成しておりません。

また、録音記録はご提供しておりません。

何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

(2月27日受信 本連盟からの電子メール)

速記録を作っていない、録音記録を開示しないのであれば、総会に出席した社員のみならず全ての会員は、社員の質問や本連盟の答弁を確認する方法がない。

私は昨年社員総会における本連盟の答弁を確認できるものとして、JJ1WTL 本林社員（関東地方本部区域）が公開している Web 記事「*社員総会議事要旨」を採用、同社員の承諾を得て本準備書面に引用した。引用部分は「* ~ 」と記している。

(*社員総会議事要 <http://motobayashi.net/history/ayumi/log20220626.html>)

<高尾前会長予定原稿>社員総会運営についてご意見をいただいておりますので、今後の社員総会運営について検討する際に参考にいたします。公開に関しては、JARL 会員に厳密に限定して配信ということは難しいと考えております。非会員にまで配信する必要はないと考えており、また、公開してもらいたくないという参加者もいらっしゃるのではないかと考えております。一方で、公開を望まれる意見を頂戴しておりますので、どのような方法であれば可能か、次回に向け検討をおこなってまいります。

<森田会長回答>毎年、公開を望まれる意見を頂戴しております。本年は速記録の公開を行いました。オンライン中継も含め、次回に向けて前向きに検討をおこなってまいります。

■準備書面 93P JH2DFJ 岩田泰典

【冒頭 議事に入る前に確認事項として議長団及び、理事会、事務局に対する要求】

【要求理由】

- (1) 社員総会速記録の廃止以降、JARL 会員や社員からは、「社員総会の公開」、web 実況中継(ライブ配信)や映像ファイル、音声ファイルの公開等の要望の声、SNS 等を中心に求められている。
- (2) 一昨年の総会において専務理事からは「検討する。」と答弁があったが、その後どのような検討がなされたかが不明である。
- (3) この実態を真摯に受け止め、よって、本日の社員総会の写真撮影、録音、録画、配信等を含め、すべて公開化を冒頭要求する。

<高尾前会長予定原稿>社員総会運営についてご意見をいただいておりますので、今後の社員総会運営について検討する際に参考にいたします。公開に関しては、JARL 会員に厳密に限定して配信ということは難しいと考えております。非会員にまで配信する必要はないと考えており、また、公開してもらいたくないという参加者もいらっしゃるのではないかと考えております。一方で、公開を望まれる意見を頂戴しておりますので、どのような方法であれば可能か、次回に向け検討をおこなってまいります。

<森田会長回答>毎年、公開を望まれる意見を頂戴しております。本年は速記録の公開を行いました。オンライン中継も含め、次回に向けて前向きに検討をおこなってまいります。

■準備書面 97P JL8LGW 船水明

1. はじめに

社員総会の公開についての質問

速記録が廃止されて以来、web 配信や映像・音声ファイルでの公開などを求める会員の声を多く聞きます。一昨年、昨年の総会においても複数の社員から公開を求める意見が出ていたと思うが、「検討する」との答弁があったが「検討」された形跡がないように見受けられる。Web 配信についてはそれほどハードルが高いとは思えないが公開を求める会員からの要望を受け入れる意思はないのかお答えください。

<高尾前会長予定原稿>社員総会運営についてご意見をいただいておりますので、今後の社員総会運営について検討する際に参考にいたします。

公開に関しては、JARL 会員に厳密に限定して配信ということは難しいと考えております。非会員にまで配信する必要はないと考えており、また、公開してもらいたくないという参加者もいらっしゃるのでは

はないかとも考えております。一方で、公開を望まれる意見を頂戴しておりますので、どのような方法であれば可能か、次回に向け検討をおこなってまいります。

<森田会長回答>毎年、公開を望まれる意見を頂戴しております。本年は速記録の公開を行いました。オンライン中継も含め、次回に向けて前向きに検討をおこなってまいります。

■準備書面 101P JI1XKH 増田 浩

社員総会質疑の情報提供について

総会前にこの準備書面の内容をチェックされる事務局、役員の方々含めて検討のお願いです。

昨年の社員総会でも要望いたしましたが、少なくとも社員総会に出席資格のある社員には、総会会場での質疑は全てオープンにすべきです。当日会場へ参加できない社員には、リアルタイム、録画録音など含め、情報提供する環境を提供すべきと考えます。

一昨年の総会で当時の専務理事から検討すると回答されていますが、その結果として何も進歩が無いように見えます。WIFIが使用できる今回の会場で、ライブ中継ができない理由をお聞かせください。

ネットによるライブ中継で提供できれば傍聴人の抽選などせず、今までよりも多くのJARL会員に情報提供することも可能です。既に多くのJARL支部主催イベントではネットでライブ中継しているケースも増えていきますし、ハムフェアでも一部のブースから生中継されています。

しばらく速記録の提供も行われておりませんが、会員には詳細で迅速な情報提供が必要と思いません。

<高尾前会長予定原稿>社員総会運営についてご意見をいただいておりますので、今後の社員総会運営について検討する際に参考にいたします。

公開に関しては、JARL会員に厳密に限定して配信ということは難しいと考えております。非会員にまで配信する必要はないと考えており、また、公開してもらいたくないという参加者もいらっしゃるのではないかと考えております。一方で、公開を望まれる意見を頂戴しておりますので、どのような方法であれば可能か、次回に向け検討をおこなってまいります。

<森田会長回答>毎年、公開を望まれる意見を頂戴しております。本年は速記録の公開を行いました。オンライン中継も含め、次回に向けて前向きに検討をおこなってまいります。

■準備書面 153P JK1FN 小林 直行

■質問【定時社員総会運営】

(議題 1 令和 4 年度決算の件 ・ 報告事項(1) 令和 4 年度事業報告)

社員総会議事運営規定には、「第 2 条 社員総会には、定款で定める社員でなければ出席することはできない」とある。本総会には、社員以外は出席していないということで間違いないか。

仮に、JARL 顧問弁護士等が出席している場合、上記に反しないのか。出席している目的を説明せよ。反しない場合、JARL 会長や JARL 理事のためではなく、JARL のために出席、すなわち JARL 社員のためにも出席しているとの認識でよいと考えるがどうか。

<高尾前会長予定原稿>本総会には、社員以外は「出席」しておりません。顧問弁護士は当連盟の「社員」ではございませんので、定時社員総会に「出席」しておりません。

<森田会長回答>社員総会に顧問弁護士を同席させることは通常行われていることであり、法的に問題はございませんが、次回以降は、その必要性も含め、再検討します。

■質問【定時社員総会運営】

(議題 1 令和 4 年度決算の件 ・ 報告事項(1) 令和 4 年度事業報告)

社員総会議事運営規定には、「第 16 条 3 傍聴者席の定数を超えた場合には、入場することができない」とある。傍聴者の定数は、何によって規定されているか。また、定数は、あらかじめ公開されていないが、その理由は何か。

<森田会長回答>傍聴席の定数は、会場の都合により上限を設けざるを得ません。ここ数年、コロナ禍を理由に少数に限られてきましたが、次回以降は、増席を検討します。

■質問【定時社員総会運営】

(議題 1 令和 4 年度決算の件 ・ 報告事項(1) 令和 4 年度事業報告)

今回の JARL 社員総会の傍聴希望数は、何名であったか。また、その倍率はいくらで

あったか。抽選に外れたとの複数の声を SNS で確認しているが、総会に関心を持ってくださっている会員に対して、どのように考えるか。本年においては、コロナ禍を理由にはできない。正員の傍聴は、なるべく希望に添えるようにするべきと考えるがどうか。

<森田会長回答>希望数は 16 名、倍率は 3.2 倍でした。次回以降については、傍聴席の増席とオンライン中継を含め、前向きに検討をおこなってまいります。

■質問【定時社員総会運営】

(議題 1 令和 4 年度決算の件 ・ 報告事項(1) 令和 4 年度事業報告)

多数の傍聴人を認められない理由が会場の費用であるのなら、オンラインでの公開を行うべきと考えるがどうか。オンラインでの公開の難易度は低い。私が所属している地域のアマチュア無線クラブでも実現できているレベルである。

ちなみに、会長をはじめ、多数の JARL 理事がメンバーとなっている「JARL 会員ファーストの会」は、Web ページで「実際の理事会の討議の様子を知っていただく必要性、録音の公開など視野に入れた検討の必要性を強く感じております」と表明しており、社員総会のオンライン公開についても同様に考えていると推察しているがどうか。

<高尾前会長予定原稿>社員総会運営についてご意見をいただいておりますので、今後の社員総会運営について検討する際に参考にいたします。

公開に関しては、JARL 会員に厳密に限定して配信ということは難しいと考えております。非会員にまで配信する必要はないと考えており、また、公開してもらいたくないという参加者もいらっしゃるのではないかと考えております。一方で、公開を望まれる意見を頂戴しておりますので、どのような方法であれば可能か、次回に向け検討をおこなってまいります。傍聴人の抽選について、適正に実施しているため問題があるとは認識しておりません。

<森田会長回答>毎年、公開を望まれる意見を頂戴しております。本年は速記録の公開を行いました。オンライン中継も含め、次回に向けて前向きに検討をおこなってまいります。